

《教育目標》 自然を愛し、教養豊かで心身ともに健全な社会人の育成

《校 是》 自主 勤労 責任

《教育方針》

- 正しい使命感と豊かな情操を培い、地域社会の発展に貢献する意欲と態度を養う。
- 農業に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ地域の農業を推進し、その発展に寄与できる担い手を育成する。
- 勤労と責任を尊ぶ自立した人間を育成する。



本校校章

福島県立磐城農業高等学校

中央に「イハキ(いわき)」の文字を配し、農業の神であるニニギノミコトにまつわる神話を図案化したものです。中心の農は勤労を、全体の円は協力を表しています。

次代を担い明るい地域社会づくりに貢献する人材を育成します！

校長 岡部 富洋

少子高齢化や情報化社会の急激な変化等、将来を予測することが極めて困難な社会となっております。このような社会にあって、農業の果たすべき役割は、その重要性を増しています。従来の効率重視の方法から環境などに配慮した真の意味での豊かさを求める社会の実現がその一つです。磐城農業高校は、農・食・生活を網羅した教育を展開することにより、豊かな食生活を地域社会に提供できる人材を責任をもって育ててまいります。人の営みを支える根本は「食」です。安全安心で豊かな食生活があってこそ、私たちは健康で充実した生活を送ることができます。教室内の学びにとどまらず、「福島イノベーションコースト構想」による人材育成事業を活用するなど、体験的な学習に重きを置くことで、命の大切さと思いやりの心、豊かな人間性を育み、心身ともに健全で有益な社会人を地域社会に送り出しております。

令和6年度教育目標と取り組み

I 学力の向上

- 基礎学力の向上
 - 日常の学習活動を通して、意欲的・継続的に学ぶ態度を育てます。
 - TTIによる授業をはじめ、個別指導を充実させます。
 - 一般常識テスト等の実施により、基礎学力の定着を図ります。
 - 家庭学習の習慣化を目指し、宿題の出し方や授業との関連等について工夫、研究します。
- 専門教育の充実
 - 実験・実習等の体験的学習を通して興味・関心、学ぶ意欲を促します。
- 授業の充実
 - わかりやすい授業、魅力的な授業を工夫、研究します。
 - チャイムtoチャイムを教員・生徒ともに徹底します。
 - 授業研究・研修を充実させます。

II 希望進路の実現

- 職業観、勤労観の育成
 - 進路ガイダンス、進路見学会、インターシップ等の実施により、早期に進路意識の高揚に努めます。
 - 社会人基礎力の育成に努めます。
- 進路決定100%の実現
 - 企業開拓に努め、求人企業と求人数の拡大に努めます。
 - 教職員全員による模擬面接を実施するなど、コミュニケーション能力の育成に努めます。
 - 四年制大学の進学者を増やすための支援体制を充実させ、合格率を向上させます。
 - 進路情報の提供と発信に努めます。
- 資格取得の促進
 - 漢検、英検、数検等の指導強化に努めるとともに学科に応じた資格や検定、合格率向上に努めます。
 - 難関資格への挑戦、取得を目指します。

III 豊かな心の育成

- 基本的生活習慣の確立
 - 挨拶の励行に努めます。
 - 規範意識の向上に努めます。
 - 服装頭髪指導や登下校指導等を実施し、高校生らしい身だしなみ、着こなしを指導します。
 - 欠席、遅刻等の減少に努めます。
- 特別活動の充実
 - 生徒の主体的活動を支援します。
 - 農業クラブ、家庭クラブ、部活動や委員会活動、ボランティア活動を通して豊かな心を育みます。
 - 「朝の読書」や図書館の利用を工夫し、読書を通して豊かな心を育みます。
- 生徒との信頼関係の醸成
 - 面接週間、アンケート、教育相談、家庭訪問等の実施により、生徒理解に努めます。
 - スクールカウンセラーを活用した心のケアに努めます。

IV 開かれた学校づくり

- 活発な情報発信
 - ホームページ、学校パンフレット、メール一斉送信システム等を活用し、情報を保護者、地域に発信します。
- 地域との連携
 - 地域行事や奉仕活動、プロジェクトへの積極的な参加により、社会性を育みます。
- 関係機関との連携
 - 関係機関と連携した活動を積極的に取り入れ、校内に新しい風を吹き込みます。
 - 関係機関と積極的に情報を交換し、関係機関と一体となった支援体制の構築に努めます。
- 信頼される学校
 - 学校事故、交通事故、不祥事防止に努めます。